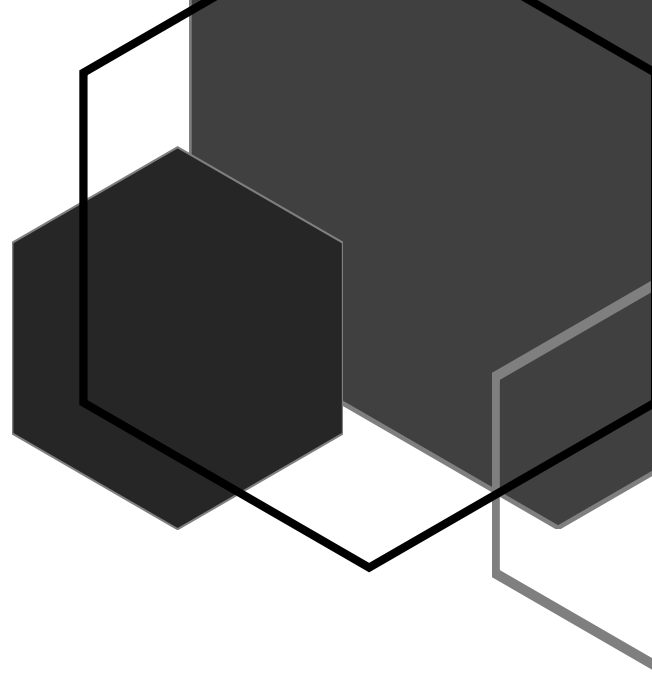
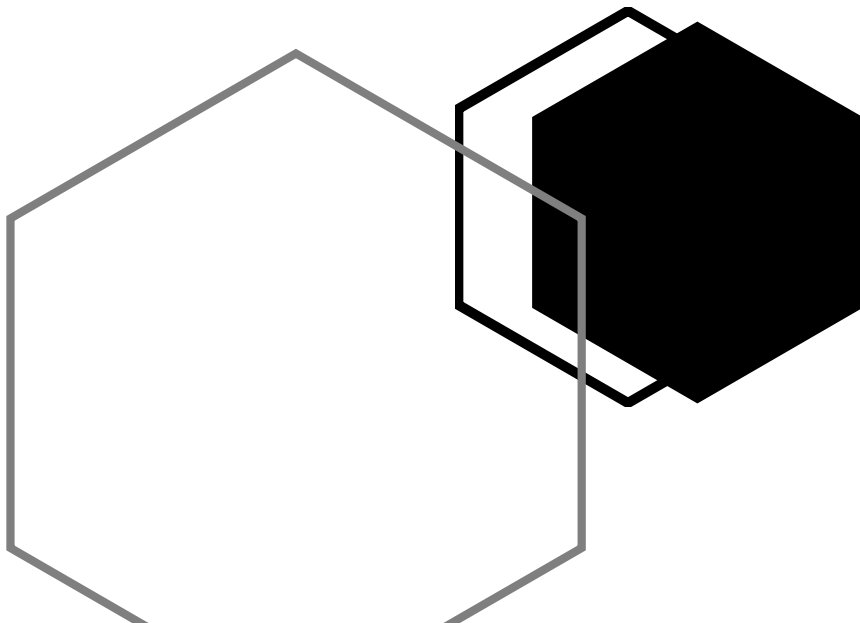




令和 6 年度 職人塾 報告書

職 人 塾 実 行 委 員 会
一般財団法人玉野産業振興公社



はじめに

日本国内の景気は、資源高や円安が続いていることも相まって物価や人件費が高騰しており、大変厳しい状況が続いております。

また、売り手市場ということもあり、玉野地域の基幹産業である造船業は、若者の製造業離れなどにより人手不足はますます顕著になり、雇用面では厳しい状態が当面続くものと思われます。

造船関係を中心とした市内の中小企業の方々が事業を安定して継続するためには、このような状況下においてもこの地域に蓄積された高度な技能・技術を的確に次世代に伝承し、限られた人員で一人一人の生産性を高め、各社の競争力を強化していくことは極めて重要な課題であります。

こうしたことから、人材の確保・育成という職人塾の果たすべき意義は、環境の変化に対応しながら、なんとか保持し続けております。

本年度も皆様方のご支援・ご協力により令和6年度の職人塾の取り組みを無事に終えることができました。

本年4月から職人塾の活動は20年目を迎えますが、今後も若手技術者・技能者を対象に開催した研修を引き続き行うことで“ものづくりのまち玉野”の技術力向上、そして若者をはじめとした市民のものづくりに対する興味や理解が深まり、本市への定住の促進や離職率の低下、地域の活性化に繋がれば幸いです。

最後に、この職人塾の取り組みに多大なるご協力ご支援をいただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和7年3月

職人塾実行委員会

委員長 三宅 照正

目次

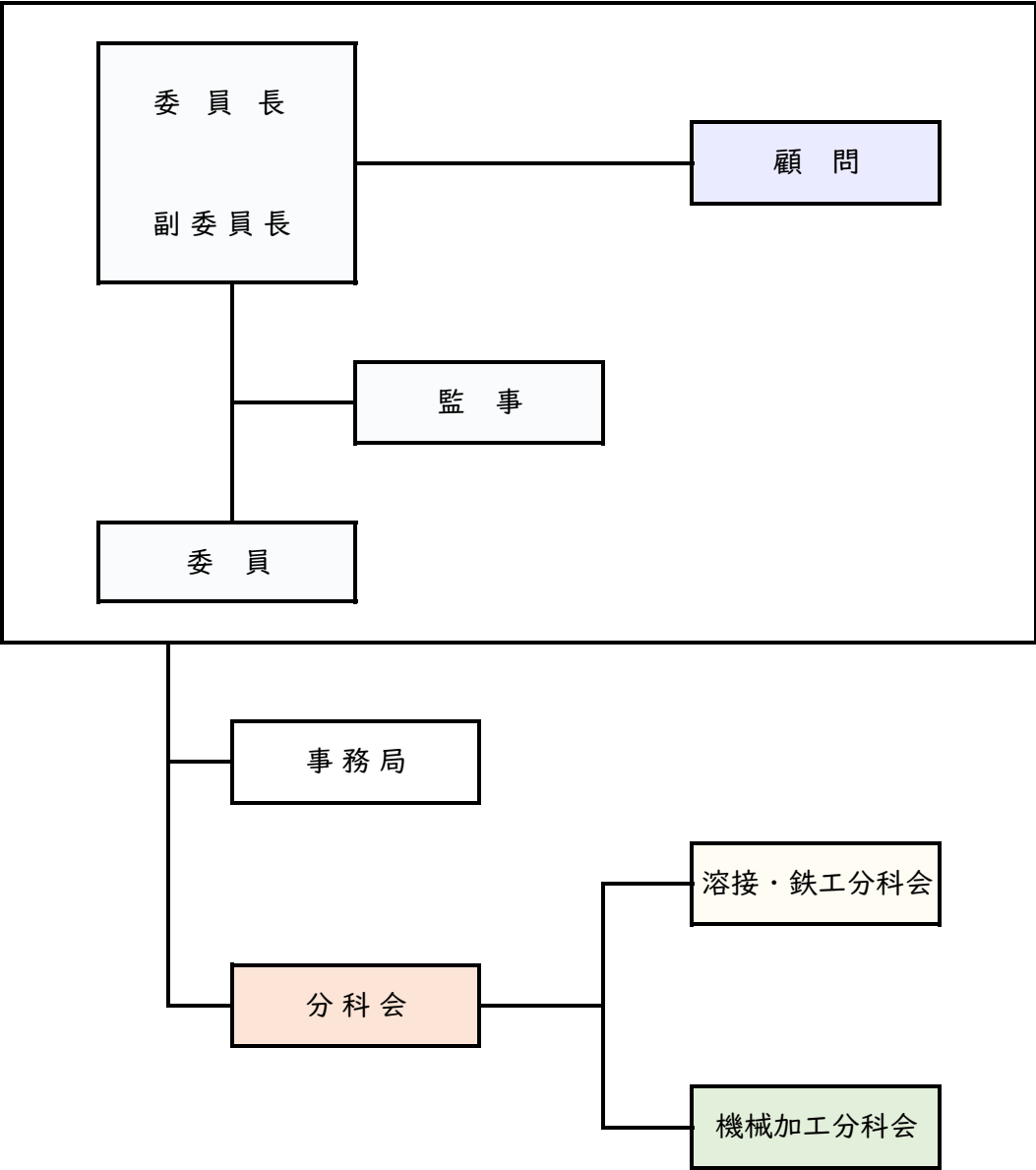
第1章 組織及び役員、分科会、講師	1
第1節 組織	1
第2節 職人塾実行委員会	2
第3節 各分科会 幹事	3
第4節 講師（順序不同）	3
第2章 事業の起源・目的・必要性	4
第1節 事業の起源	4
第2節 事業の目的	4
第3節 事業の必要性	4
第3章 全体活動実績	5
第1節 全体活動実績表	5
第2節 職人塾実行委員会総会の概要	6
第3節 各分科会の会議概要	7
(1) 溶接・鉄工分科会の議事概要	7
(2) 機械加工分科会の議事概要	7
第4章 広報活動について	8
第1節 ホームページでの広報	8
第2節 新聞・広報誌等での広報	9
第5章 実施研修について	11
第1節 実施計画	11
1-1 目的	11
1-2 研修の概要	11
1-3 受講生募集	11
1-4 講師の選定	11
1-5 その他	11
第2節 研修内容と状況	12
2-1 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修	12
半自動溶接技能向上研修の募集案内	12
半自動溶接技能向上研修のプログラム	13
半自動溶接技能向上研修写真	15

2-2 機械加工分科会 5S 研修.....	17
5S 研修の募集案内.....	17
5S 研修のプログラム.....	18
5S 研修写真.....	19
第3節 受講生及び講師アンケート	20
3-1 溶接・鉄工分科会	21
1. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【受講生】	21
2. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【講師】	23
3-2 機械加工分科会	27
1. 機械加工分科会 5S 研修【受講生】	27
2. 機械加工分科会 5S 研修【講師】	29

第Ⅰ章 組織及び役員、分科会、講師

第Ⅰ節 組織

職人塾実行委員会



第 2 節 職人塾実行委員会

役 職 名	氏 名	在 職 団 体
委 員 長	三宅 照正	協同組合マリノベーション玉野 理事長
副委員長	宮原 一也	玉野鉄工協議会 会長 ・ 玉野地区雇用開発協会 会長
副委員長	藤原 一師	玉原鉄工業協同組合 理事長
副委員長	鈴木 康裕	三井・三菱玉野協力会 会長
委 員	渡邊 智幸	中国運輸局岡山運輸支局 海事技術専門官
委 員	市倉 勇樹	一般財団法人玉野産業振興公社 理事長
委 員	稲田 秀知	株式会社三井E&S 人事総務部 玉野総合事務所長
監 事	大倉 明	玉野市産業振興部長
監 事	中谷 勤	玉野商工会議所 専務理事
顧 問	中川 陽介	中国運輸局岡山運輸支局 次長
事 務 局	小笠原 隆文	玉野市産業振興部商工観光課 課長
事 務 局	若松 秀敏	玉野市産業振興部商工観光課 課長補佐
事 務 局	河内 美香	玉野市産業振興部商工観光課 主査
事 務 局	丸尾 千紘	玉野市産業振興部商工観光課 主任
事 務 局	山上 誠二	一般財団法人玉野産業振興公社 事務局長
事 務 局	柴田 圭一	一般財団法人玉野産業振興公社 事務局次長
事 務 局	岡崎 由紀	一般財団法人玉野産業振興公社 主事

第3節 各分科会 幹事

分野	分科会幹事会社	役職・氏名
溶接・鉄工	[代表] 三井造船特機エンジニアリング株式会社 三国工業株式会社	代表取締役社長 林 利昌 総務部長 前原 守 総務課長 梶原 勇治 代表取締役社長 三宅 照正 取締役 細谷 静男
	技術顧問 株式会社三井 E&S	人事総務部 玉野総合事務所 人事グループ 課長補佐 山本 哲也
機械加工	[代表] 株式会社宮原製作所 長尾鉄工株式会社 株式会社大熊製作所 近藤工業株式会社	技術参与 伊加 勝 製造部長 末長 忠 代表取締役社長 大熊 力三 代表取締役社長 近藤 幸宏
	技術顧問 株式会社三井 E & S 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部 岡山職業能力開発促進センター	船用推進システム事業部 玉野工場 加工部長 柿並 泰洋 訓練課長 竹中 良平

第4節 講師（順序不同）

分野	氏 名
溶接・鉄工	木口 英之、片岡 龍二、平本 晃貴、藤井 俊也、平林 渉、寺尾 和真、西村 卓也、辻本 拓志、石村 圭祐、白川 翔大朗、岡田 直洋、若田 達明、片山 佳紀、米藤 桂吾、合原 寛、池田 徹、筒井 康裕、大賀 康人、清板 祐哉、山野 博章、永畑 光一、原田 佑也、安藤 嘉之、渋谷 聡之、松岡 潤太、砥板 涼也、天川 武士、下村 修平、福原 隼、庄司 涼平、田原 達彦、大賀 勝彦、村上 博之、松本 忠志、宮原 寛宝、坪下 直樹、徳田 雅春、今井 広二、谷井 順志、田原 秀樹、前原 守、梶原 勇治、内田 光一、山田 壮志 (44 名)
機械加工	和田 有希子 (1 名)

第2章 事業の起源・目的・必要性

第1節 事業の起源

玉野市は、これまで造船を中心とする機械工業のまちとして発展してまいりました。しかし、近年の少子高齢化、高学歴化、若者の製造業離れ、更には平成20年代後半に団塊世代が大量に定年退職を迎えるという転換期を迎え、製造業における後継者問題、衰退等が大いに懸念される状況になっていました。

平成18年度に市内製造業関係者の約2,000名にアンケート調査を実施したところ、50歳代、60歳代以上が約5割を占めており、平成28年までの10年以内に当市内でも現実問題としてその影響が課題として顕在化しました。

このことにより、これまで培ってきた技術が薄れていくことや製造業自体の衰退、まちの衰退に繋がるのではないのかとの懸念が設立のきっかけになりました。

この様な状況の中、平成18年度に内閣官房都市再生本部の都市の再生助成事業に応募し、全国都市再生モデル調査として「技術のまち玉野」再生・若者就労支援策キャリア形成職人塾設立に関する調査事業」として採択を受けたことが本事業の起源となっております。

第2節 事業の目的

中小型造船機械工業等における技術・技能水準の維持発展を図ることを目指し、新規に就業する若者等へ基礎的技術を学ばせると共に、中堅技術者が高度な技術を身につけるため、熟練技術者が保有する機械加工や溶接等の技術について体系化等を進めるなど、その習得基盤を整備することにより機械工業の振興に寄与するものです。

第3節 事業の必要性

若者に対し、ものづくりの喜びやこれまで培われた技術や技能を伝承するとともに、中堅技術者に一層高度な技術習得を促し、また、市民等に改めて製造業に対する関心を高め、定住促進を図るものです。

このことは、中小型造船機械工業等における技術及び技能を伝承していく基盤を整備し、その確立を図るとともに製造業に従事している若者や市民に対し地域の機械工業に対する理解を広めることの重要な意義を有しており、きめ細やかな地域の中小企業の支援となります。

第 3 章 全体活動実績

第 1 節 全体活動実績表

令和6年度職人塾 全体活動実績表

実施名称	令和6年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実行委員会												
実行委員会総会		実行委員会総会(書面決議) ⑥										
専門分科会の開催 ☆溶接 ★機械				☆						☆☆		
各分科会予算関係				執行								
研修関係												
講師の委嘱			機械		溶接・鉄工							
テキストの作成					溶接・鉄工							
受講生募集		5S研修 4/23 ~ 5/23		半自動溶接技能向上研修 7/12 ~ 9/6 5S研修 ※2次募集 8/23 ~ 10/18								
研修の実施												
溶接・鉄工 半自動溶接技能向上研修				三井E&S技能研修センター 9/28 ~ 11/30(毎週土曜日・4時間×8回)					★資格試験 12/5			
機械加工 5 S 研修								10/29、11/5、11/12 (4時間×3日) 産業振興ビル				
ホームページの作成・広報												
次年度事業計画の作成										次年度 事業・予算検討		
実施成果のとりまとめ												

職人塾実行委員会事務局

第 2 節 職人塾実行委員会総会の概要

令和 6 年 5 月 13 日（月）令和 6 年度 職人塾実行委員会 総会

※ 書面表決として開催しました。

議 事

議案第 1 号	役員及び顧問の選任	賛成 10 , 反対 0
議案第 2 号	委員長、副委員長及び監事の選任	賛成 10 , 反対 0
議案第 3 号	令和 5 年度職人塾事業報告	賛成 10 , 反対 0
議案第 4 号	令和 5 年度職人塾収支決算	賛成 10 , 反対 0
議案第 5 号	令和 6 年度職人塾事業計画	賛成 10 , 反対 0
議案第 6 号	令和 6 年度職人塾収支予算	賛成 10 , 反対 0
議案第 7 号	令和 6 年度職人塾溶接・鉄工分科会事業計画	賛成 10 , 反対 0
議案第 8 号	令和 6 年度職人塾機械加工分科会事業計画	賛成 10 , 反対 0

結 果

すべての議案について、全会一致で承認されました。

第3節 各分科会の会議概要

分科会毎に適時会議を開催し、本塾の運営を円滑に実施推進するため、各課題について協議しました。

(1) 溶接・鉄工分科会の議事概要

No.	日 時	場 所	内 容
1	令和6年6月25日	三井 E&S 技能研修センター 会議室	・ 令和6年度の実施研修 - 予算 - プログラム - 講師選出及び登録 - 講師謝金の支払方法 - 受講生募集及び対象者 - 使用材料及び消耗品 - JIS 試験申込みの対応 ・ その他
2	令和7年1月21日	三井 E&S 技能研修センター 会議室	・ 令和6年度の事業評価、決算等 ・ 令和7年度の活動についての検討 - 代表幹事の選任 - 半自動溶接技能向上研修開催日程 - 予算 - 半自動溶接技能向上研修の内容 ・ その他

(2) 機械加工分科会の議事概要

No.	日 時	場 所	内 容
1	令和7年1月20日	産業振興ビル グループ研究室③	・ 令和6年度の事業評価、決算報告 ・ 令和7年度の活動についての検討 - 代表幹事の選任 - 実施研修の内容 - 実施研修開催日程 - 予算 ・ その他

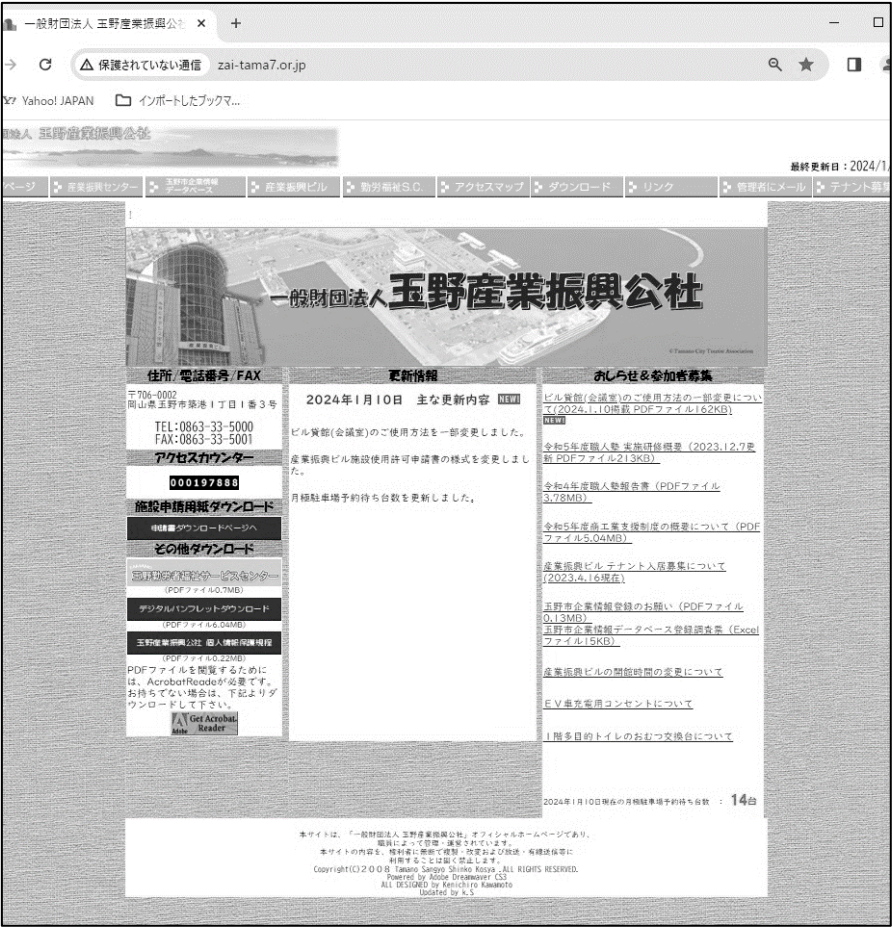
第4章 広報活動について

第1節 ホームページでの広報

「職人塾」の実施にあたり、本塾の実施計画、実施時期、科目、募集要項等を適時ホームページに掲載し広く公開することによって、ものづくりに対する興味の喚起と研修への参加を促しました。

http://www.zai-tama7.or.jp/

募集要項の掲載 令和6年5月 及び 随時更新



第2節 新聞・広報誌等での広報

市民に対し、当塾の活動内容の広報や募集要項を発信することにより、参加意識の高揚と興味の喚起を図りました。

令和6年10月5日
山陽新聞

ものづくり技術の継承を目指す「職人塾」の開講式



高度な溶接技術習得へ 「職人塾」10人試験合格目指す

玉野市 基幹産業・造船業など
玉野市による講義や実技研修を11月までに8回受けて、日本産業規格（JIS）の溶接技能者評価試験合格を目指す。開講式が9月28日に「半自動溶接技能向上研修センター」であり、三宅昭正実行委員長が「ものづくりの楽しさを知り、どんどん技術を向上させてほしい」とあいさつ。三井物産（同市玉原）の岡山一洋が受講。熟練技術者ら

ん(50)は「より高度な溶接技術を現場で生かせるよう、講師の教えをしっかりと身につけた」と話した。

塾は造船関連企業や市などで行う実技委が06年度から実施している。（黒瀬空）

令和6年12月3日
山陽新聞

玉野の「職人塾」10人に修了証書
溶接技術継承 造船業などの現場で培われたものづくり技術



玉野市は9月11日、半自動溶接の技能向上を目指し実技研修や座学を8回行った。多くの修了者は日本産業規格（JIS）の溶接技能者評価試験を5日に受ける。

開講式は受講者、講師を務めた熟練技術者ら計30人が出席。三宅昭正実行委員長が「大きな声であいさつやレベルアップした技術、講師とのつながりといった3つの宝を今後の力にしてほしい」と激励した。

受講者を代表し、宮原製作所の船橋出大さきた。学んだ技術を仕事で発揮できたい」と取り、船橋さんは話した。

「講座を通して成長できた。職人塾は造船関連企業や市などで行う実技委が06年度に始めた。（高橋田）

令和6年7月号
広報たまの

**職人塾 ものづくり技術・
技能教育研修受講生募集**

半自動溶接技能向上研修

日 9月28日～11月30日の毎週土
曜日(全8回) 8時～12時
※10月12日、11月9日(土)は休講

場 三井E&S技能研修センター
(玉3-1-1)

内 溶接作業者としての基礎、JIS資
格試験レベルの技術・技能の習
得(SA-2Fなど)

対 市内在住・在勤の中小企業従業
員・求職者

定 先着15人程度

※最少実施人数6人

料 中小企業従業員1万円、求職者
5千円

申 7月12日(金)～9月6日(金)に
申込フォームで申込み

申 問 (一財)玉野産業振興公社
☎ 33-5000



第5章 実施研修について

第1節 実施計画

1-1 目的

企業従事者、一般市民、求職者等を対象に機械器具製造業についての技術・技能水準の維持発展を目指し座学・実習の研修を行うことにより、機械工業の振興並びに地域市民のものづくりへの関心の喚起を促すものであります。

1-2 研修の概要

各研修コース概要一覧

分科会	研修名	受講生数	研 修 概 要	時 間	期 間	場 所	参加者
溶接・鉄工	半自動溶接技能向上研修	10 名	溶接技術・技能の座学及び実習 ・CO ₂ 半自動溶接のJIS 資格受験対策 他	31 時間 ※座学 7 時間 ※実技 24 時間	9/28～11/30 4 時間×8 回 毎週土曜日	三井 E&S 技能研修センター	在職者
機械加工	5S 研修	5 名	5S によるムダ取り・改善の進め方	12 時間	10/29～11/12 4 時間×3 回 毎週火曜日	産業振興ビル 3 階 技術研修室	在職者

1-3 受講生募集

玉野産業振興公社のホームページ、玉野市広報、玉野公共職業安定所、関係団体、各企業へ募集活動を行い、企業の従業員並びに求職者を対象として研修を実施しました。

1-4 講師の選定

これまでの講師実績を基にご協力いただいた企業の社員の方々より選定しました。

1-5 その他

■ 半自動溶接技能向上研修

- ・求職者も受講対象としましたが、令和6年度の申込みはありませんでした。
- ・閉講後の12月5日に受講生9名がJIS溶接技能者評価試験を受験し、全員合格しました。

※ SA-2F：7名、SA-2F/2V：1名、SA-2F/3F：1名

■ 5S 研修

昨今の受講参加状況を鑑み、令和6年度は、現場のリーダー及び中堅向け研修として「5S 研修」を企画し開講しました。

今後、新人向け研修「製図の基礎及び計測研修」は企業の新規採用の状況等をみて実施の検討を行うこととしました。

第2節 研修内容と状況

2-1 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修

半自動溶接技能向上研修の募集案内

ものづくり分野の
技術・技能研修

職人塾
募集案内

半自動溶接技能
向上研修

▶ **研修名** 令和6年度 職人塾 半自動溶接技能向上研修

▶ **期 間** 令和6年9月28日から令和6年11月30日までの土曜日午前中(延べ8回)
9/28・10/5・10/19・10/26・11/2・11/16・11/23・11/30

▶ **場 所** 三井E&S技能研修センター (岡山県玉野市玉3丁目1番1号)

▶ **対 象 者** 玉野市内に勤務または在住している中小企業従業員及び求職者

▶ **定 員** 15名程度 ※最少実施人数: 6名

▶ **受講料** 在職者 1万円 / 求職者 5千円
※ JIS試験料費用は別途となります。

▶ **研修内容** 溶接作業者としての基礎、JIS資格試験レベルの知識・技能修得(SA-2F等)
※ 過去5年間の有資格者のJIS半自動溶接試験合格率 平均93.4%

▶ **申込方法** 下記QRコードまたは <https://forms.gle/wedUbnld6hZXVMAQ8> からお申し込みください。

▶ **申込期限** 令和6年9月6日(金) 17:00まで ※定員になり次第締切

▶ **そ の 他** JIS試験の申込みは各自で対応ください。

代表幹事 職人塾溶接・鉄工分科会
三井造船特機エンジニアリング株式会社

申込先 職人塾実行委員会事務局
一般財団法人玉野産業振興公社 (担当: 桑田)
岡山県玉野市東港1丁目1番3号
<http://www.zai-tama7.or.jp>

☎ 0863-33-5000 ✉ san-bill@zai-tama7.or.jp

職人塾
半自動溶接技能向上研修 プログラム

第1回	9/28	- 開講式 - 講義① 安全教育 - 講義② CO2溶接機の特長・周囲の見方と組立方法 - 講義③ 鉄鋼材料と溶接材料
第2回	10/5	- 講義④ 溶接部の検査方法 - 実技 半自動溶接 (CO2溶接)
第3回	10/19	- 講義⑤ 模擬テスト(No.1、No.2) - 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第4回	10/26	- 講義⑥ 模擬テスト(No.3、No.4) - 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第5回	11/2	- 講義⑦ 模擬テスト(No.5) - 実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第6回	11/16	実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第7回	11/23	実技 半自動JIS評価試験を想定した練習
第8回	11/30	- 実技 半自動JIS評価試験練習 - 閉講式

研修会場 : 三井E&S技能研修センター

JIS試験

12/5 (予定)

JIS半自動溶接技能者評価試験 (※希望者のみ各自申込み)

参考費用 SA-2F【基本級】※(一社)日本溶接協会の非会員の場合
 学料 1,100円 + 実技 7,900円 + 認定審査料 2,800円 + 事務手数料等 4,400円
 = 合計16,350円

詳しくは、一般社団法人岡山県溶接協会のホームページを参照ください。
URL <https://www.optic.or.jp/jwes-okayama/>

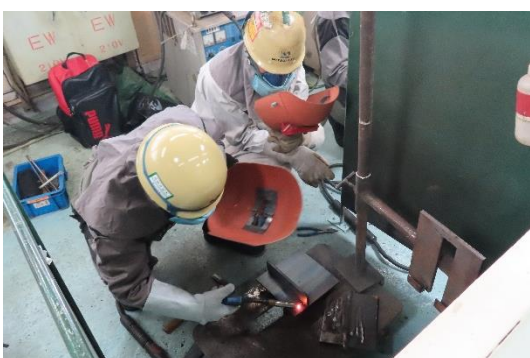
試験会場 : 三井E&S技能研修センター

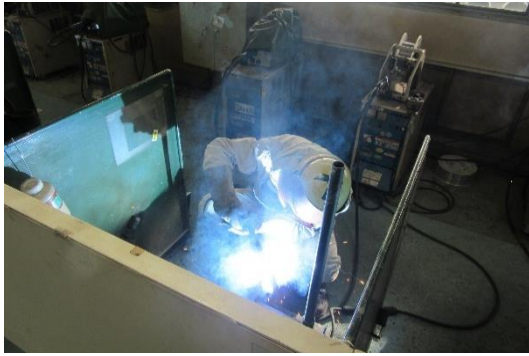
半自動溶接技能向上研修のプログラム

No.	実施日	研修時間	研修内容
第1回	9月28日(土)	開講式 8:00 ~	
		座学 8:40 ~ 9:40	安全教育 ・三井E&S玉野事業所構内に於ける規則及び一般安全、注意事項教育 ・溶接一般コース内容及び溶接作業向け安全教育
		座学 9:45 ~ 10:45	CO ₂ 溶接機の特性を学習 ・溶接機の構造と操作、電気の知識 ・半自動溶接機の知識、半自動溶接機の取扱い
		座学 10:50 ~ 11:50	鉄鋼材料と溶接材料を学習 ・鉄鋼材料、鋼溶接部の材質変化 ・溶接性、鋼のじん性と遷移温度
第2回	10月5日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	溶接部の検査方法を学習 ・試験と検査、破壊検査、非破壊検査
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動溶接 ・CO ₂ 溶接下向き隅肉多層盛りを実習 ・材料：T9 × 200 × 200、FB-T9×50×200 ・テストピース仮付指導
第3回	10月19日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	学科試験 受験準備講義(No.1、2)
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・JIS 受験練習(CO ₂ 溶接下向 SA-2F) ・材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220
第4回	10月26日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	学科試験 受験準備講義(No.3、4)
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・JIS 受験練習(CO ₂ 溶接下向 SA-2F) ・材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・JIS 受験練習(CO ₂ 溶接下向 SA-2V) ・材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V を実施
第5回	11月2日(土)	座学 8:00 ~ 9:00	学科試験 受験準備講義(No.5)
		実技 9:05 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・JIS 受験練習(CO ₂ 溶接下向 SA-2F) ・材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・JIS 受験練習(CO ₂ 溶接下向 SA-2V) ・材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V を実施

No.	実 施 日	研修時間	研 修 内 容
第 6 回	11 月 16 日(土)	実 技 8:00 ~ 12:00	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) ・ 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2V) ・ 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-3F) ・ 材料：T19 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施
第 7 回	11 月 23 日(土)	実 技 8:00 ~ 12:00 JIS 課題	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) ・ 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2V) ・ 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-3F) ・ 材料：T19 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施
第 8 回	11 月 30 日(土) 試験本番 の練習	実 技 8:00 ~ 11:00 JIS 課題	半自動 JIS 評価試験練習 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2F) ・ 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-2V) ・ 材料：T9 × 200 × 200、T6×25×220 ・ JIS 受験練習 (CO ₂ 溶接下向 SA-3F) ・ 材料：T19 × 200 × 200、T6×25×220 ※受講生の習得度合いにより、講師判断で SA-2V/3F を実施
		閉講式 11:15~	

半自動溶接技能向上研修写真





2-2 機械加工分科会 5S 研修

5S 研修の募集案内

ものづくり分野の
技術・技能研修

職人塾 5S研修
募集案内

5Sによるムダ取り・改善の進め方



※ 日程を変更して改めて募集いたします

▶ **研修名** 令和6年度 職人塾 5S研修

▶ **研修日** 【1日目】 令和6年10月29日(火) 【2日目】 11月5日(火) 【3日目】 11月12日(火)
※研修時間は、各日共 13:00 ~ 17:00

▶ **場 所** 産業振興ビル 3階 技術研修室 (岡山県玉野市築港1丁目1番1号)

▶ **対 象 者** 玉野市内に勤務または在住している製造現場のリーダー、中堅社員 等

▶ **定 員** 15名程度 ※最少実施人数: 3名

▶ **受講料** 3,000円

▶ **研修内容** 5Sによるムダ取り・改善の進め方

▶ **申込方法** 下記QRコードまたは、<https://forms.gle/VwPyvT3SzVBmTmRz7> からお申込みください。

▶ **申込期限** 令和6年10月18日(金) 17:00 まで(要員になり次第締切)

代表幹事 職人塾 機械加工分科会
株式会社宮原製作所

申 込 先 職人塾実行委員会事務局
一般財団法人玉野産業振興公社 (担当: 柴田)
岡山県玉野市築港1丁目1番3号

<http://www.zai-tama7.or.jp>

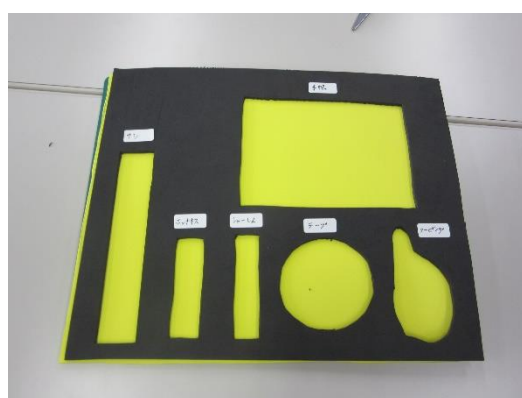
☎ 0863-33-5000 ✉ san-bill@zai-tama7.or.jp



5S 研修のプログラム

回	研修日時	研修内容
第 1 回	10 月 29 日(火) 13:00~17:00	(1) 5S の意義 (2) 5S の定義 考え方・進め方を知ろう ワーク : 5S チェックリスト (3) オフィス・間接部門の 5S
第 2 回	11 月 5 日(火) 13:00~17:00	(1) 事例から学ぶ 5S の進め方 ・ 海外の 5S 事例 ・ 国内の 5S 事例 (2) 5S 推進マニュアル(12 のポイント) ①~⑤ 【実習】 5S カードワーク ※①から⑤まで
第 3 回	11 月 12 日(火) 13:00~17:00	(1) 5S 推進マニュアル(12 のポイント) ⑥ 【実習】 シャドーボード製作実習 各種ツール説明 【実習】 品目明細表作成 ・ 5S 事例集、5S 基準、5S チェックシート ・ 推進マニュアル⑦~⑧ ・ ワークショップの進め方 ・ 推進マニュアル⑨~⑫ 【実習】 5S 推進チェックリスト評価実習 (2) 補足説明

5S 研修写真



第 3 節 受講生及び講師アンケート

3-1 溶接・鉄工分科会

1. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【受講生】
2. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【講師】

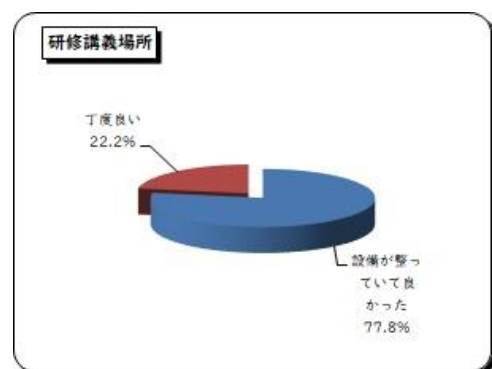
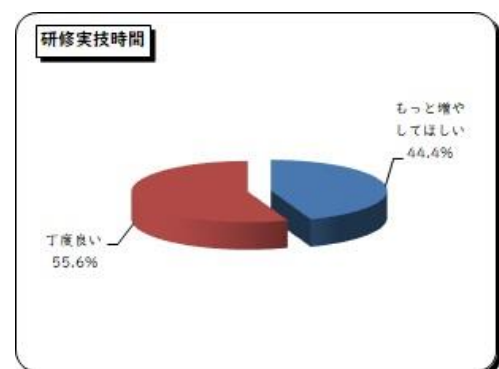
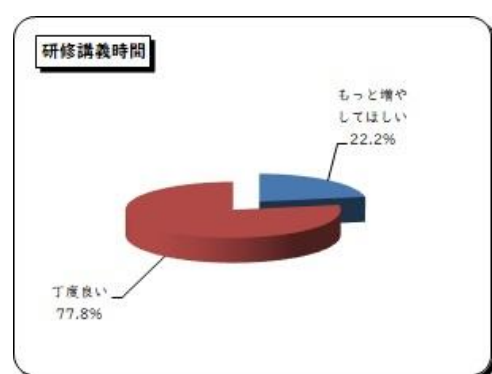
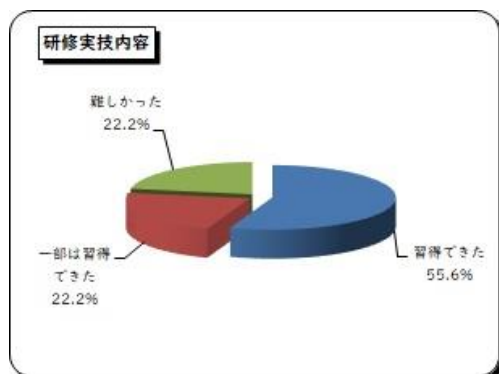
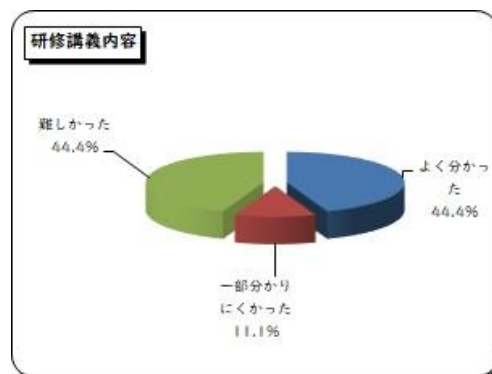
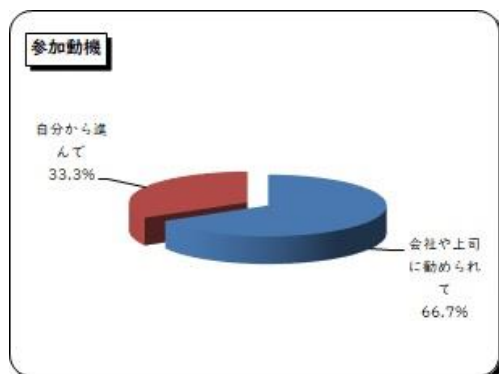
3-2 機械加工分科会

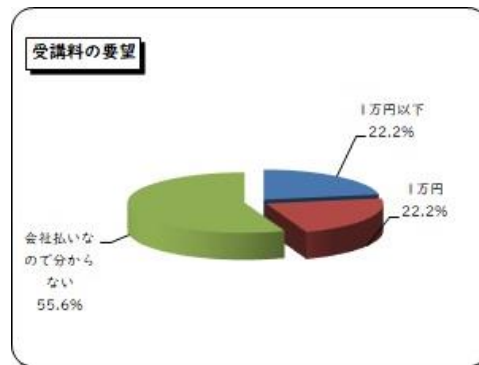
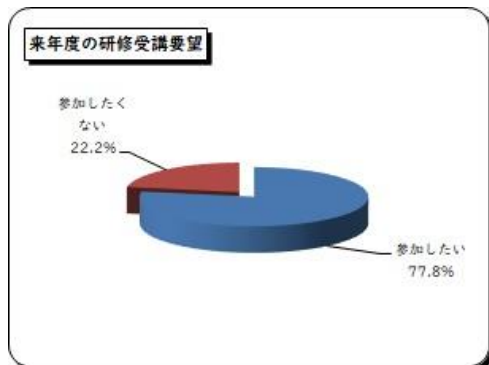
1. 機械加工分科会 5S 研修【受講生】
2. 機械加工分科会 5S 研修【講師】

3-1 溶接・鉄工分科会

1. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【受講生】

本項は、令和6年9月28日から令和6年11月30日まで（延べ8日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修」の受講生10名中9名からのアンケート回答についてまとめたものです。





研修の希望等

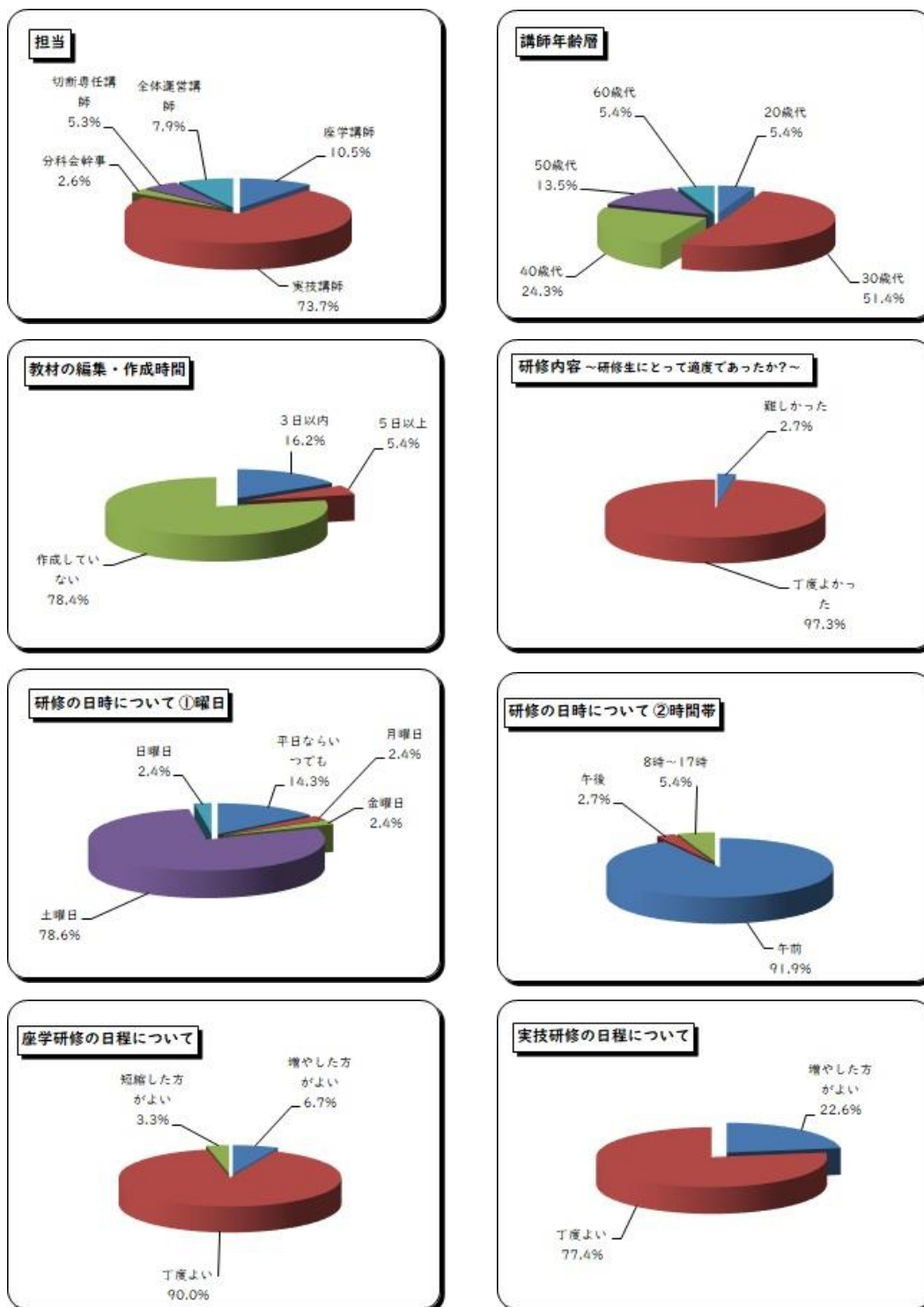
- 研修日の減少（土曜日半日を1日にして、日数を減らす等）
- 10月以降
- もっと長期間がいい
- 研修日の減少
- アーク溶接の技能検定

研修の感想

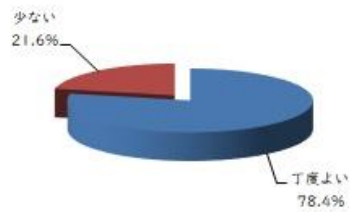
- 実技ではマンツーマンでの指導をして頂き、各人のレベルに合わせて進めてもらえてとても良かったです。この研修で身に付けた技術を会社で活用したいと思います。
- 今後も実技向上を目指したいです。
- 講師の方がしっかり教えてくれてほぼマンツーマンだったので、ものすごくやりやすかったです。
- 学科試験の講義でもっと詳しく回答の解説が欲しかった。
- 講師の方々も分かりやすく教えていただいて感謝しかないです。
- これからもスキルを磨き、能力向上を目指して頑張りたいです。
- 普段使い慣れていない CO₂ 溶接を学ばせて頂きました。なかなか上手く出来なくて苦労しましたが、経験豊富な講師の方々から色々な角度で丁寧な指導して頂き受講当初と比べて随分と上手く出来る様になりました。本当に貴重な経験を積む事が出来たので、今後自分の職場(現場)で今回の経験で培った技術を発揮できたらと思っています。この度は本当にありがとうございました。
- 講師の方に直接教えて頂きけたのがとても良い有り難かった。

2. 溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修【講師】

本項は、令和6年9月28日から令和6年11月30日まで（延べ8日間）に実施した「溶接・鉄工分科会 半自動溶接技能向上研修」の講師44名中37名からのアンケート回答についてまとめたものです。



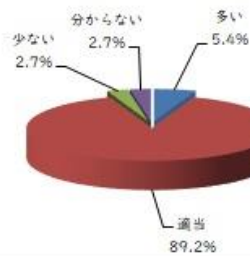
研修回数（延べ8回）について



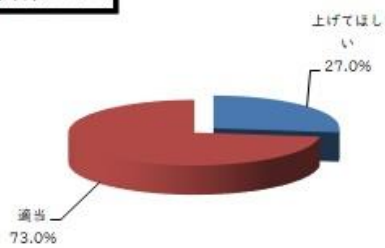
研修の場所や設備について



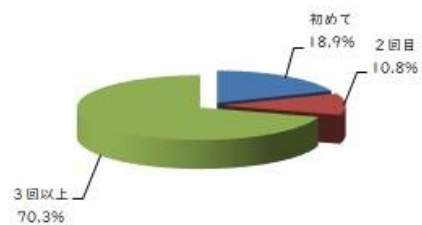
講師の配置について



講師料について



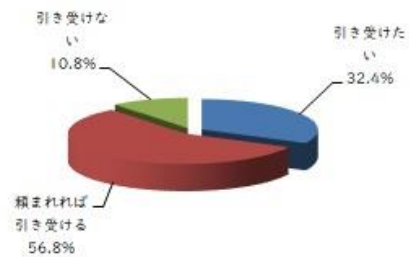
講師としての経験について



研修の満足度について



次回研修の講師依頼について



定年退職後の研修の講師の依頼について



研修目標、新しい課題の導入、改善要望について

- 溶接
- 実作業で必要になるスキルの習得
- JIS 試験絶対合格
- 各自の目標資格がわかった方がよい
- 溶接工より鍛冶工の方が少ないと感じているので、製缶の塾も兼ねていただきたい。
- JIS 試験の合格。受講生と講師の交流
- 適当と思います。
- 今の研修内容に JIS 資格取得は適正と考えます。
- 1 人につき 1 人講師がいればもっといいと思います
- 研修生の経験にあっていればいいと思う。
- 全員合格
- ティグ溶接
- 手棒もやっても良いと思う
- TIG 溶接
- 溶接を覚えた次は図面の見方、溶接記号の理解、組み立て方などを学ぶ機会を設けて欲しい。
- アーク溶接、ガス切断
- TIG
- 現状維持でいいと思います。
- TIG 溶接もあればいいと思う。
- 余裕があるなら専門級の資格を増やしてもよい
- アーク溶接
- ガス、仕上げ
- 初歩的なティグ溶接など。
- 1 時間あたりの希望講師料（謝金）
 - 5,000 円／時間 : 5 名
 - 4,000 円／時間 : 5 名
 - 3,500 円／時間 : 5 名
 - 現状のままで良い : 21 名

研修の感想等

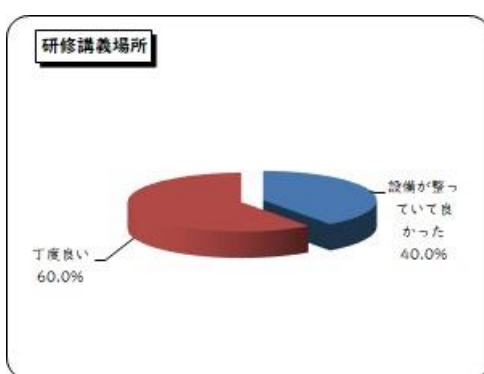
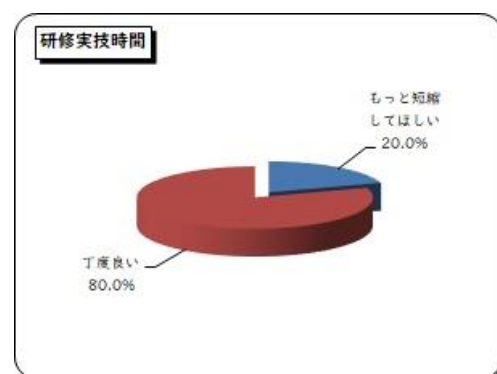
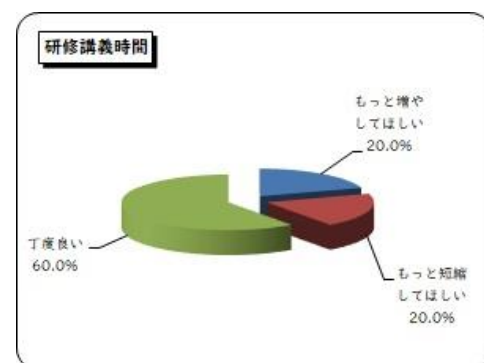
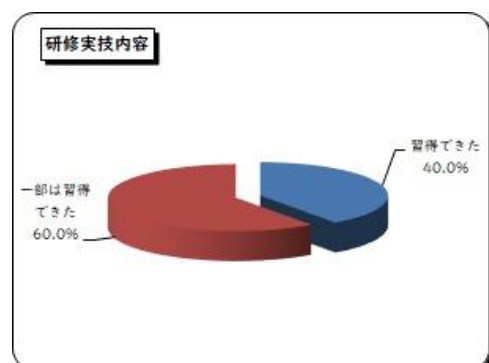
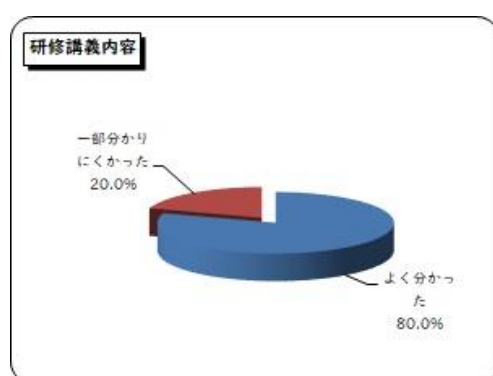
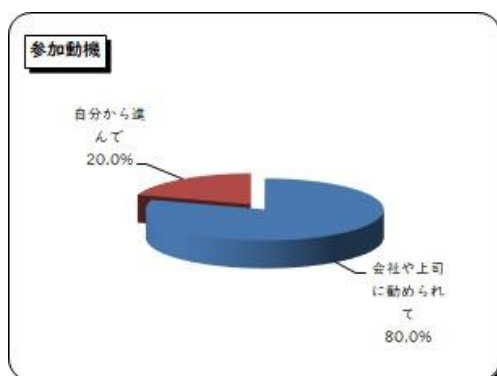
- 被り面を使用した方がよい。
- とても良い経験になった。
- 真面目な生徒ばかりで頑張ってくれました。
- よかった。
- 実技内容を本人の技量に合わせて決定した方がよいと思います。
- 開先加工ピースが若干間に合わない場面があったので、受講生が増えたら不安。

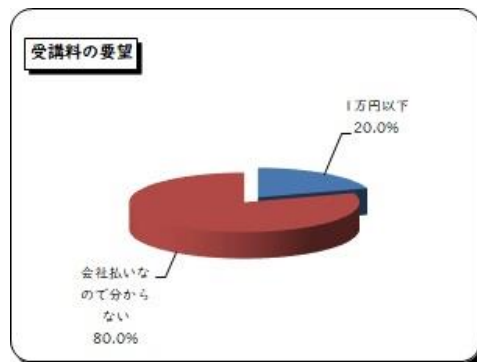
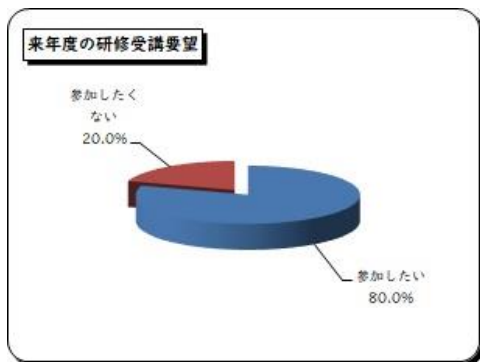
- 皆さん真剣に受講されていたと思います
- 溶接が初めての方で真面目に取り組んでくれていました。
- 受講生全員、怪我とか無く終わる事ができて良かったです。受講生も真面目に取り組んでいてすごく良かったと思います。
- 今回は生徒も上達して満足でした。
- 受講生の取り組み方に感銘を受けた。
- 今回だけで無く、受講者の感想を聞いてみたい。
- 溶接未経験の方が多く、資料の内容がわかりにくかったかもしれない。経験有無の情報が欲しい。
- みんな上達が早かったので安心してテストが受けられると思います。
- 教えがいがあってよかった
- 受講生は真剣に取り組んでいて良かった
- 楽しい研修で私たちも教える上で勉強になることがあり良い経験になりました。
- 人数が少なかった。
- 研修内容じたいは良いと思いますが、溶接時に使用する治具の改善が、出来れば良いかと思いました。
- 教える勉強になりました。
- 講師が多過ぎると思う。色々な意見を聞くことが悪く働くケースもある。
- 研修生のレベルも高く充実した内容だったと思う。
- 特に問題なく終わったのでよかったと思う。
- 向上心があって良かった。ただあまり講師が入れ替わらない方(やり方が変わる)がいいようにも感じました。
- これから教える側にまわる機会が増えると思うので良い経験になりました。
- 欠席者がチラホラ見受けられたので残念でした。
- とても良い時間だったと思います。
- 研修生も真面目に指導を聞いてくれてよかった。
- 実技についてはマンツーマンで講師から技術指導が受けれていたと思います
- 良かったと思います。
- 頑張っしてほしい。
- 研修生が合格に向けて頑張っていた。

3-2 機械加工分科会

1. 機械加工分科会 5S 研修【受講生】

本項は、令和 6 年 10 月 29 日から令和 6 年 11 月 12 日まで（延べ 3 日間）に実施した「機械加工分科会 5S 研修」の受講生 5 名からのアンケート回答についてまとめたものです。





研修の希望等

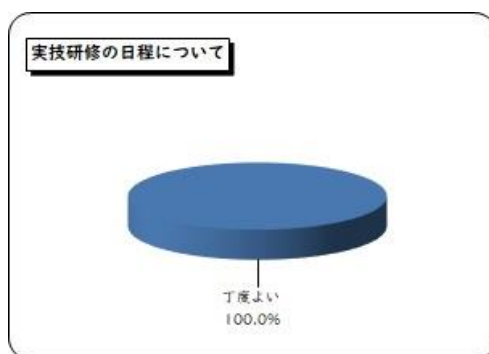
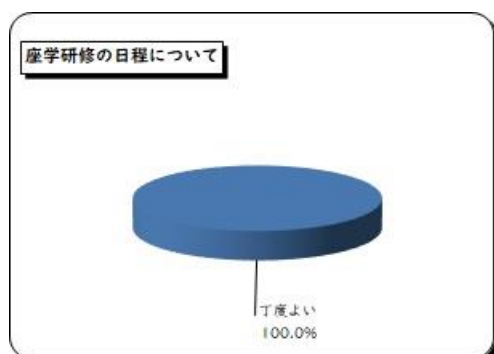
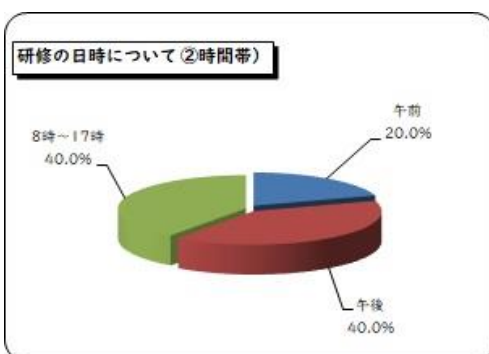
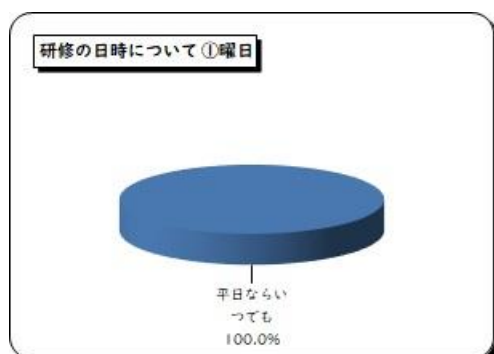
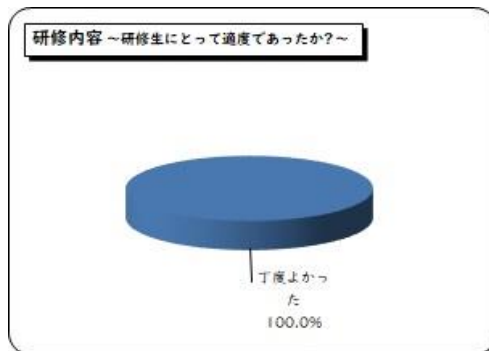
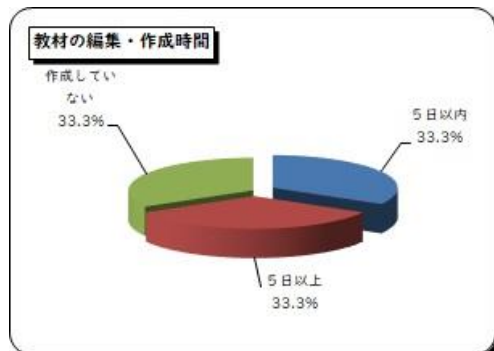
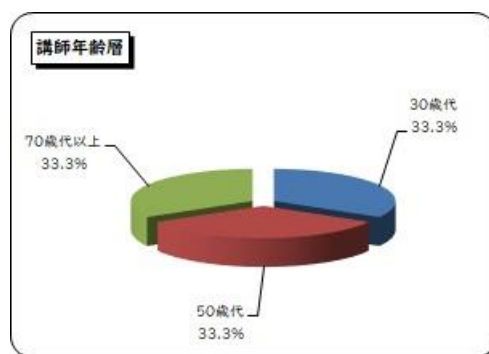
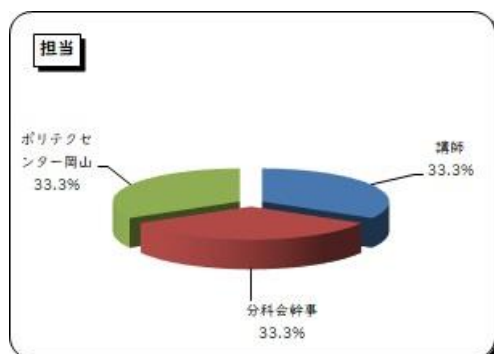
- MT 試験
- 技能系向上
- 職人塾 5S セミナー
- なんでも
- 資格取得への研修製図研修
- 溶接の検定など

研修の感想

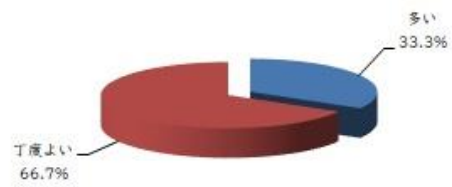
- 改めて 5S 活動を知れた。
- 資料が分かりやすく聞きやすかったです。
- ためになる内容なだけに参加人数が少なくて残念でした。
- 5S についてよく分かった。
- 資料がわかりやすかったです。

2. 機械加工分科会 5S 研修【講師】

本項は、令和 6 年 10 月 29 日から令和 6 年 11 月 12 日まで（延べ 3 日間）に実施した「機械加工分科会 5S 研修」の講師及び運営関係者 3 名からのアンケート回答についてまとめたものです。



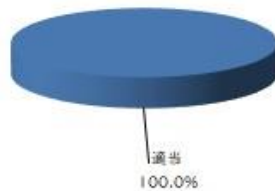
研修回数（延べ3回）について



研修の場所や設備について



講師の配置について



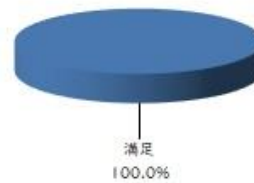
講師料について



講師としての経験について



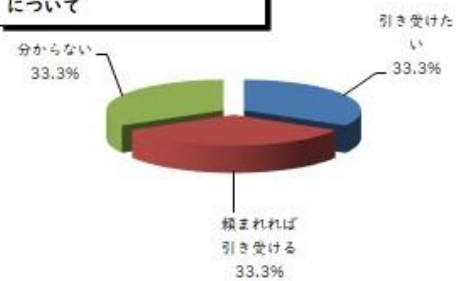
研修の満足度について



次回研修の講師依頼について



定年退職後の研修の講師の依頼について



研修の改善要望

- 講師謝金の希望額(1 時間あたり)について
 - ・ 10,000 円以上
 - ・ 今回より高額になればいいと思います。
 - ・ 一般常識の範囲
- 研修目標の希望
 - ・ 今回のような工場管理系のセミナー
 - ・ 入社 3 年未満向けの研修目標
- 新しい研修内容の提案
 - ・ ハラスメント研修、コミュニケーション力養成研修、タイムマネジメント研修、リーダーシップ研修、他
 - ・ 引き続き 5S も良いのですが、その他だと「製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法」もオススメです。
 - ・ 工具寿命管理関係を、映像と座学を交えた研修とか

研修についての感想

- 2 社 5 名だったのでいろいろや会社様が参加されるとより良いです。
- とても良いセミナーなので、もっと多くの企業が受講できたら良かったです。
- 時間配分（午後半日）は良かったと思います。

令和 6 年度職人塾 報告書

発行日 令和 7 年 3 月
発行所 一般財団法人 玉野産業振興公社
〒706-0002
玉野市築港 1 丁目 1 番 3 号
電話 (0863)33-5000
e-mail san-bill@zai-tama7.or.jp
URL <http://www.zai-tama7.or.jp/>

